

(1) フラワー号について

④ゼロカーボンシティの実現に向けた公共交通分野における今後の取組について

◆ゼロカーボンシティ宣言

鴻巣市では令和3年10月に環境省が定義している2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）とする「鴻巣市ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言している

◆鴻巣市地球温暖化対策実行計画（令和5年3月策定）

目的：脱炭素社会の実現に向けて、これまでの取組を見直し本格的に取り組む
計画期間：令和5年度（2023）から令和12年度（2030）までの8年間

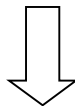
【これまでの公共交通分野におけるゼロカーボンの取組状況】

- ・公共交通機関の利用の呼びかけ
- ・コミュニティバスの車両にEVバスを導入
- ・こうのす乗合タクシー及び鴻巣市デマンド交通ひなちゃんタクシーの導入

【市民アンケート結果】

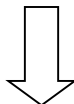
（問）地球温暖化対策、脱炭素社会の実現に向けて市が優先的に取り組むべきことは？

- ・コミュニティバスなどの公共交通機関の充実など、マイカー以外の交通手段の普及
→33.0%（第1位）
- ・電気自動車や燃料電池自動車などのクリーンエネルギー自動車の普及
→15.1%（第8位）



【今後の取組】

- ・環境負荷の低い交通・運輸への転換促進
鉄道、路線バス、コミュニティバス等の公共交通機関の利用促進を図る
- ・自家用車・営業車の使用に伴う環境負荷低減
公用車やコミュニティバスへの次世代自動車の導入を進める



【目標】

- ★2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度と比較し46%削減
→公共交通分野においても同様の削減を目標とする
- ★「フラワー号」「こうのす乗合タクシー」「ひなちゃんタクシー」の利用促進

【ゼロカーボンシティの実現に向けた今後の取組】

★次世代自動車の普及促進

「フラワー号」 →緊急時の対応や実行計画のCO2削減目標値等を考慮し、運行車両10台中5台をEV車両に更新する

「このす乗合タクシー」 →令和10年度の契約更新時にEV車両の導入を検討する

バス車両の更新スケジュール（予定）

更新年度	台数	車両タイプ	対象コース
令和6年度	1台	ディーゼル	広田、共和、中山道コース
令和7～8年度	2台	EV ディーゼル	広田、共和、中山道コース
令和9年度	1台	EV	田間宮コース（200km）
令和10年度	1台	EV	常光コース（226km）

※車両は走行距離100万キロを目安に更新しており、令和5年度までに10台中5台が更新完了（ディーゼル3台、EV2台）

・広田、共和、中山道コース（朝日自動車^株の運行路線）

3台目のEV車導入について、これまでの運行実績に基づき、経路充電時間やバッテリー残量等のシミュレーションを作成し、安定した運行が可能であることを確認のうえ導入を進める。

なお、1回の充電で走行可能な航続距離は、冷房起動時においてカタログ値を超えている。

（R5購入EV車BYD J6 カタログ値210kmに対し、約250km走行可能）

また、充電器については、運行事業者の車庫や経路充電箇所の川里ふるさと館のほか、「（仮称）道の駅このす」の令和10年中開業（予定）に伴うコース再編を踏まえて設置を検討するなど、EV車両導入と併せて必要に応じて増設を行う。

・田間宮、常光コース（ロイヤル交通の運行路線）

現在のEV車両のバッテリー容量では、経路充電が必須となっており、ピストン運行のコースでは導入ができない状況であるが、バッテリー性能の向上を期待し、EV車両の導入を計画する。

（R4購入EV車：カタログ値150km→R5購入J6ニューモデル：210km走行）

★コミュニティバス、デマンド交通の利用促進

フラワー号	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の日記念事業として運賃無料を実施（10月の第3土曜・日曜） ・川里フェスティバル（11月開催）でのバス教室開催 ・夏休み期間中の小中学生運賃無料の実施継続を検討
このす乗合タクシー ひなちゃんタクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な広報への掲載、SNSの発信 ・出前講座の実施 ・制度周知による運転免許証返納の促進